

令和6年衆議院小選挙区選出議員選挙長崎県第2区選挙公報

長崎県選挙管理委員会

もう変えんば！ 答えは現場にある！

7つの変えんば！

- 1 企業団体献金を禁止し、真の政治改革を
- 2 防衛増税、インボイス増税を廃止する
- 3 子ども予算を倍増し、教育の無償化を実現
- 4 年金の最低支給額を引き上げ、老後の安心を
- 5 社会保険料の企業負担を軽減し、賃上げを実現
- 6 国からの所得補償で、後継者が育つ農林漁業へ
- 7 離島航路の低料金化を島民以外も対象へ

お金の力で動く金権政治でなく 国民の力で動くまっとうな政治へ

地域をまわり、長崎県民の皆さまから様々な声を聞きました。
 「年金じゃ暮らしていけん」「農村にわかもんがおらんくなった」
 「子育てにお金がかかり過ぎる」「物価は上がるが、給料は上がらない」
 今の政治、もう変えんば！あなたの声を力に変えて、国政へ挑みます。

山田勝彦プロフィール

1979年7月生まれ
 県立大村高等学校卒業 / 法政大学 社会学部卒業
 (株)プレナス 勤務 (2003年～09年)
 元農林水産大臣 山田正彦秘書 (09年～13年)
 (株)やまびこ学苑設立 (13年～障がい福祉、農業)
 第49回衆議院議員総選挙 初当選 (21年)
 衆議院議員長崎3区補欠選挙 当選 (24年)

第208回国会 三ツ星議員 表彰



「議員の発言・質問回数」「議員立法の回数」「質問主意書の提出件数」を集計し、713名の国会議員の中から14名が「三ツ星議員」に選ばれ、表彰されました。



山田勝彦

立憲民主党 長崎2区

(45歳)

地方の暮らしを守り抜き、地方から希望ある日本を創る！

プロフィール
 ◎昭和五十五年二月十日生まれ ◎平成十五年九月 日本大学経済学部経済学科卒業 ◎平成十七年十二月 セホン株式会社入社 ◎平成二十二年十二月 衆議院議員安倍晋三秘書 ◎平成二十四年十二月 衆議院議員加藤寛治秘書 ◎令和三年十月 第四十九回衆議院議員総選挙にて初当選・党農林水産関係団体委員会副委員長・党農林部畜産酪農対策委員会事務局次長 ◎令和五年九月 国土交通大臣政務官兼内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官 ◎令和六年二月 衆議院農林水産委員会・経済産業委員会 ◎令和六年六月 与党九州新幹線(西九州ルート)検討委員会委員

- UP **「国土強靱化」を推進し、国民のいのちと暮らしを守る**
- UP **個性と能力を十分に発揮できる「女性活躍社会」の実現**
- UP **地方経済を支える産業拠点創出し「経済安全保障」を強化**
- UP **「現実的な安全保障」と「自衛隊処遇改善」でわが国の抑止力を強化**
- UP **生活の安心を支える「社会保障制度の充実」と迅速な「物価高騰対策」の実行**
- UP **地理的条件不利地の社会を守る「半島・離島振興策」により**
- UP **総合的な「少子化対策・こども政策」の抜本的強化**
- UP **地方そして国の繁栄を支える「農林水産業の振興」**

郷土創生 ふるさとの未来を創る

地方の声を国へ届け、地方に投資を促し、地方を活性化するところが日本の国力の向上に繋がります。地方のいのちと暮らしを守り抜き、誰もが誇らしく思える郷土を創り、地方から希望ある日本を創ることが私の政治使命です。
 郷土の未来のため、この身を賭して政治活動に邁進することをお誓い申し上げます。



加藤竜祥

自由民主党(44歳)



有言実行 誠の政治を取り戻し、先人が築いた素晴らしい日本を次世代につなぎたい！

- 1 **政治腐敗を浄化する政治改革**
 - 企業団体献金と政策活動費の廃止。
 - 旧文通費の用途公開(主要政党の非公開額は年間約70億円)
 - ※維新は法整備を待たずに、率先垂範で実行中。
- 2 **可処分所得を倍増させる減税・成長戦略・規制改革**
 - 消費税・所得税・法人税の減税。
 - 労働市場の流動化やライドシェア問題に象徴される既存産業への参入障壁撤廃。
 - ※大阪府・市一体の成長戦略、都市計画の推進、万博誘致効果により、関西2府4県の24年度のGRP(実質国内総生産)の成長率が1.2%に、日本全体の成長率0.3%を上回る予測。
- 3 **世代間不公平を打破する社会保障の抜本改革**
 - 高齢者医療制度の適正化による現役世代の社会保険料負担軽減。年金制度の抜本的改革。

- 4 **所得制限のない教育無償化と教育改革**
 - 義務教育、幼児教育、高校において所得制限のない完全無償化。
 - ※大阪では、小中学校の給食費無償化や私立高校を含めた高校授業料の無償化を実現。
- 5 **離島・半島の生業を支え、国土を守る**
 - 吉岐、対馬、島原半島の人々の生業や生活を支える有人国境離島法の改正・延長と半島振興法の延長。
 - 国境離島を守るための「外国人土地取得規制法案」の成立。

「言ったことはやる」
 今、日本の政治に最も必要なことではないでしょうか。政党職員として、国政の現場で目にしたのは、言葉に責任を持たない不誠実な政治家たちの姿でした。数に奢り必要な改革を行わない与党でもなく、言行不致、言っただけで自分たちは実行しない野党でもない。有言実行の維新の改革で大阪が生まれ変わったように、覚悟を持って改革を実行すれば、必ず日本は変わります。

先月、祖父も通った長里小学校(来年3月で閉校)で最後の運動会が行われました。早朝から地域のみなさんと学校の先生が一緒に準備を行い、競技に登場するひ孫を優しく見守り、91歳のおばあさんの笑顔が心に残りました。家族(織糸と地域(横糸)が織りなす幸せな光景を、50年先、100年先にも残したい。そのために、必要な改革を行い、日本の未来を切り開きます。みなさんの1票を横田ともひろに託してください。



横田ともひろ

37歳

【プロフィール】
 ◆ 剣道有段者
 ◆ 2児の父
 ◆ 祖父が諫早市小長井地区の出身
 ◆ 早稲田大学法学部 卒
 ◆ キーエンスグループで経験を積み、マーケティング支援事業を立ち上げ
 ◆ 元日本維新の会職員(幹事長室)

街頭演説の予定や様子はこちら！▶



令和6年 衆議院小選挙区選出議員選挙長崎県第2区選挙公報 長崎県選挙管理委員会
 10月27日執行



日本をなめるな!

上がる物価と税金、上がらない給料と気分。もう先進国と名乗れない経済の低迷。世界に誇るべき技術力を持つ日本中小企業の衰退。自分たちの利益と保身にしか興味がない政治家の劣化。真実を報道しないマスコミ。止まらぬ少子化、消えゆく地方。輸入頼みの日本の食卓。後回しにされる環境保護。解決しないエネルギー問題。いじめや自殺が絶えない学校や会社。子供も大人もどんどん生きにくくなる社会。こうした日本の弱体化を待っていたかのように、土地もインフラも企業も外国資本に買われ、大量の移民が流入する。このままでは日本が日本でなくなる。もう見過ごしてなんていられない。私たちはまだやれる。日本の未来を諦めない。

特設サイトで
公約をチェック!



参政党公約2024

3つの決意と7つの行動

43歳

たかき
高木さとこ
参政党公認

決意 1 奪われる日本の国土と富を護り抜く。

行動 1 積極財政と減税による経済成長で失われた30年に終止符を打つ。

行動 2 外国資本による日本の買収と過度な移民受け入れに歯止めをかける。

決意 2 失われる日本の食と健康を護り抜く。

行動 3 輸入依存から脱却し食料危機への備えを強化。

行動 4 ワクチン薬害問題を党をあげて追究し、被害救済申請の負担軽減と審査の迅速化。

決意 3 壊される日本の教育と国家アイデンティティを護り抜く。

行動 5 日本の国柄と国益を守る国家アイデンティティの確立。

行動 6 若者が未来の社会を動かす国へ。16歳からの投票権。

行動 7 自民党の憲法改正案に反対し、国民自らが憲法を創る「創憲」を推進。



比例も参政党へ

高木さとこ
プロフィール

1981年生まれ、長崎県波佐見町出身。大村在住、3人の子育て中。長崎日本大学高等学校、長崎大学教育学部を卒業し、長崎県内の公立小学校や特別支援学校で19年間勤務。公教育の限界を感じ2023年3月に退職。4月にオルタナティブスクール「にじの木」を立ち上げ、子供たちを笑顔にする活動に邁進している。

長崎県内の小選挙区の区割りが改定されました

- 今回の衆議院議員総選挙から新しい選挙区で選挙が行われます。
- 投票前に、自分の選挙区を確認しておきましょう。
- 詳しくは、長崎県選挙管理委員会のホームページをご覧ください。



<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kenseijoho/senkyojoho/senkyojouhou/585981.html>